

からだ・くらし・すこやかに

第184期

中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び
申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第184期上半期(平成15年4月1日から平成
15年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げま
す。

平成15年12月



取締役社長

喜我健次郎

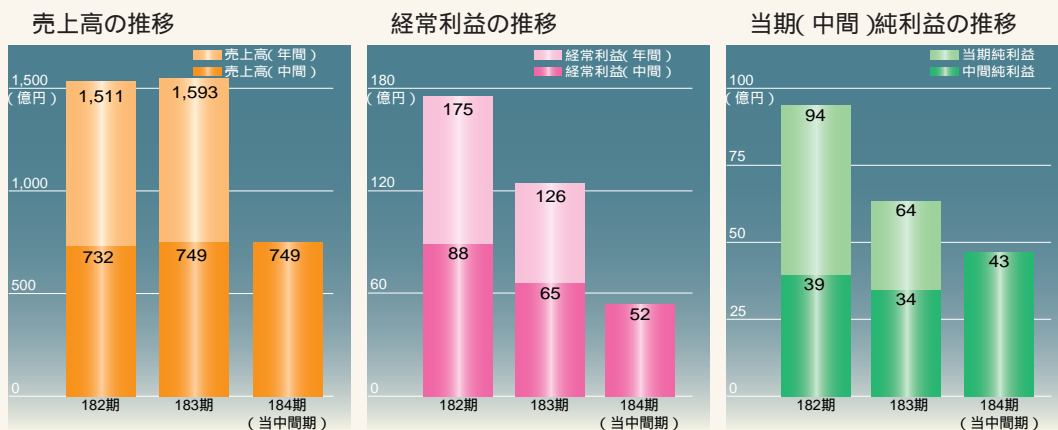
営業の概況

当上半期の日本経済は、底這状態の景気が後半には海外経済の回復基調を背景に緩やかに回復の兆しが見えて株価も上昇基調となりましたが、その一方で長期金利の上昇や円高の進行など不安定な動きもあり、未だに先行きは不透明な状況で推移しております。

医薬品業界におきましては、薬剤費を始めとする医療費抑制策が一段と進められ、市場が低迷する中で、外資系企業の国内での営業攻勢が加速され、ますます厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は昨年度に策定した第2期中期経営計画「質的経営の実現 - 存続に向けた革新への挑戦 - 」を基本方針として、研究・開発・営業の各部門が積極的、効率的に連携し、製品のポテンシャル

を最大限に引き出す戦略を推進し、鋭意努力いたしておりますが、売上高は横這いの749億3百万円となりました。営業利益は、より少ない人とコストで最適な成果を追求し、生産性の向上の実現を目指しておりますが、製品構成の変化また新設設備の減価償却費の増加等により売上原価が上昇し、退職給付費用の増大によって販売費及び一般管理費も増加し、40億1千2百万円(前年同期比32.3%減)となりました。経常利益は、受取配当金及び工業所有権収入等の営業外収益が増加し、52億7千4百万円(前年同期比19.8%減)となりました。中間純利益は厚生年金基金の代行部分返上による多額の特別利益を計上し、一方で開発品目の中止による特別損失が発生いたしました結果、43億8百万円(前年同期比24.5%増)となりました。



部門別に売上の状況を見ますと、医薬品事業では、利益貢献度の高い消化管運動促進剤「ガスマチン」、持続性抗アレルギー剤「エバステル」、末梢循環改善剤「プロレナール」、抗てんかん剤「エクセグラン」、経口血糖降下剤「グリメクロン」及びマクロライド系抗生物質製剤「クラリシッド」、経腸栄養剤「エンシュア・リキッド」を中心に販売に努力いたしましたが、広範囲経口抗菌剤「ガチフロ」が市場性変化により販売低下を余儀なくされ、売上高は552億7千5百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

動物関連事業では、犬系状虫症予防剤「カルドメック」、抗菌性化学療法剤「ピクタス」等の動物用医薬品及び犬猫用特別療法食等を中心に販売に注力するとともに、昨年度に田辺製薬株式会社から譲り受けた製品群が本格的に寄与した結果、売上高は140億9百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

その他の事業では、天然増粘安定剤「エコーガム」及び「グリロイド」、天然調味料「アジポール」等の食品添加物、工業薬品並びに研究検査用資材等の販売に努めました結果、売上高は56億1千8百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

設備投資につきましては、当上半期の設備投資額は24億9千8百万円であります。本年4

月に生産拠点の統合を完了し、鈴鹿工場に建設中であった包装棟及び資材センターが稼働を始めました。また、資金調達につきましては、本年8月に銀行等金融機関より70億円の借入れを行い、9月に第3回無担保転換社債111億1千8百万円を償還いたしました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき5円とし、支払開始日を12月5日とさせていただきます。

以上、当上半期の業績の概況をご説明申しあげましたが、来年4月に薬価改定が予定されているように、今後も国内での医薬品市場は医療費抑制策のもとでますます厳しさを増し、企業間競争はさらに激化していくものと予想されます。

当社といたしましては、このように刻々と変化する経営環境に適応すべく「経営革新委員会」と「製品戦略委員会」を立ち上げ、第2期中期経営計画の基本方針である「質的経営の実現」を目指して具体的施策を進め、国内医薬品事業及び関連事業の収益性拡大、海外事業基盤の整備、生産性の向上を図り、経営基盤を確固たるものにし、業績の向上に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

研究開発の状況

主力である医療用医薬品事業では、血管系疾患、精神神経系疾患、免疫・炎症性疾患、感染症の4つの領域を重点指向研究領域と位置付けて探索研究活動を行っております。

剤型追加申請中であった癌疼痛治療剤「オプソ内服液」を本年6月に発売しました。現在、癌疼痛治療剤「アンペック注」の新投与経路追加及び経口血糖降下剤「グリミクロン」の剤型追加など3品目を製造承認申請中であります。

主な開発品目としては、統合失調症治療剤「ロナセン」、株式会社ツムラと共同開発の高血圧症治療剤「ザニジップ」、糖尿病合併症治療剤「AS-3201」、痴呆治療剤「AC-3933」、不安・うつ病治療剤「AC-5216」などが国内外で臨床試験段階にあります。また、抗てんかん剤「エクセگران」についてはパーキンソン病への、当社の国際戦略製品である消化管運動促進剤「ガスマチン」については胃切除後症候群へ

の適応症追加試験及び吸入ステロイド喘息治療剤「キュバール」については小児に対する新用量追加の申請準備を行っております。

糖尿病治療剤「AJ-9677」について、日本では当社が、米国では導出先の武田薬品工業株式会社が臨床試験を行っていましたが、フェーズにおいて期待した有効性が認められなかったことから本年9月に開発を断念いたしました。

本年8月には、当社が自社開発中の痴呆治療剤「AC-3933」に関してアベンティス社(フランス)に、欧米等における開発販売権を付与する契約を締結いたしました。

動物用医薬品事業では、自社開発の動物用抗菌剤「ビクタス」シリーズのラインナップ充実に注力し、犬用感染症治療剤「ビクタス MTクリーム」の猫への適応拡大及びブタ呼吸器感染症治療剤「ビクタス水溶散」を製造承認申請中であります。

鈴鹿工場への工場統合が完了

当社では生産システムの最適化を図るため、本年4月1日に大阪工場を閉鎖し、鈴鹿工場に統合しました。また、工場統合を機に鈴鹿工場に包装、倉庫及び品質管理の機能を備えた最新のGMP適合工場として包装棟及び第2資材センターを建設し、本年4月4日に竣工しました。これにより生産性がさらに向上するものと期待しています。

痴呆治療剤をアベンティス社に導出

当社は、自社開発中の痴呆治療剤「AC-3933」を、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界においてフランスのアベンティス社が開発・販売することに合意し、本年8月に導出契約を締結しました。現在、当社が欧州でフェーズ a臨床試験を実施中であり、当該試験終了後の開発をアベンティス社が引き継ぐ予定です。

「AC-3933」は、ベンゾジアゼピン受容体にパーシャルインバースアゴニストとして作用する新しいメカニズムに基づく痴呆治療剤です。アセチルコリン神経系を賦活するとともに、グルタミン酸神経系を賦活する作用も有し、痴呆症の中核症状である記憶障害に対して既存薬に優る改善効果が期待されます。

糖尿病治療剤の開発を中止

当社と武田薬品工業株式会社は本年9月、当社が創製した糖尿病治療剤「AJ-9677」について、国内外での開発を中止することを決定しました。

本剤については、当社が国内で糖尿病を対象疾患として、欧米においてはライセンス先である武田薬品工業株式会社が糖尿病、肥満症を対象疾患として、各々フェーズ 臨床試験を行っていましたが、これらの臨床試験成績を評価した結果、本剤に期待していた十分な有効性が得られず開発の中止を決定しました。

新製品 ニュース

塩酸モルヒネ内服液剤 (劇) (麻) (指) オブゾ®内服液 5mg/10mg 平成15年6月発売



オブゾ®は、当社が開発した、本邦で初めて規格化された塩酸モルヒネの内服液剤です。当社はモルヒネ製剤として、錠剤、徐放性カプセル、坐剤、注射剤を製造・販売していますが、今回これらに液剤が加わることになりました。

これまで、モルヒネ液剤は院内調剤されており、モルヒネの強い苦味を矯正する必要があるなど調製が煩雑であること、院内調製された液剤は冷所保管しても使用期間は2週間が限度とされるなどの欠点がありました。

本品は、モルヒネの強い苦味を良好に矯正した1回使いきり型アルミスティック分包品であり、院内調剤する手間を省くことができ、かつ室温で長期保存が可能となった便利な鎮痛剤です。また、液剤であることから、錠剤やカプセル剤等の固形製剤を飲み込むことが困難な患者さんにおいても有用です。

さらに、効果を発現するまでの時間が短く、突然現れる痛みに対処するための薬剤としても最適であるため、痛みを苦しむ患者さんのクオリティ・オブ・ライフ(日常生活における満足度)をよりいっそう向上することが期待されます。

新製品 ニュース

水産用ワクチン (劇) **イリド・レンサ混合不活化ワクチン「ビケン」** 平成15年4月発売

イリド・レンサ混合不活化ワクチン「ビケン」は、財団法人阪大微生物病研究会が製造する動物用医薬品で、海産養殖魚のブリ属魚類(ブリ、カンパチ、ヒラマサ等)において被害の大きいイリドウイルス感染症と溶血性レンサ球菌症を1回(0.1mL)の注射で予防できる水産用ワクチンです。



これまでではそれぞれの感染症に対するワクチンしか販売されていませんでしたが、本年4月に本ワクチンを新発売したところ、生産者のニーズにマッチしたことから急速に市場に浸透することができました。本ワクチンの発売により、生産者のワクチン注射に係る労力や時間が軽減され、計画的な養殖魚の生産を通して養殖業の経営安定化に貢献できるとともに、安全・安心な養殖魚を消費者に供給できるものと期待しています。

1日1回で効く みずむし・たむし治療薬 **新マルピー水虫薬(ジェット噴射)** 平成15年5月発売

当社は本年5月に子会社のマルピー薬品株式会社を通じて新マルピー水虫薬(ジェット噴射)を新発売いたしました。本品は、平成13年3月に発売した新マルピー水虫薬シリーズ(液剤・クリーム剤)の姉妹品で、本年3月のゲル剤の発売に引き続き、エアゾール剤の剤型追加発売となります。

新マルピー水虫薬シリーズは、医療用からスイッチした成分であるイミダゾール系の抗真菌剤ピホナゾールが水虫菌(白癬菌)に優れた効果を現わします。さらに抗炎症剤としてグリチルルチン酸、水虫の痒みを抑える鎮痒剤のクロタモシと局所麻酔剤のリドカイン、雑菌を抑え水虫の嫌な臭いを防ぐ殺菌剤の塩化ベンザルコニウムなどを配合し、総合的な効果を示す水虫薬です。



また、本品はエアゾールタイプですので、手を汚すことなく、手軽に使用することができる便利な水虫薬です。

この度、エアゾールタイプが加わったことにより、水虫の様々な症状に、液・クリーム・ゲル・エアゾールと最適な剤型を選択できるようになりました。

貸借対照表

| 科目 | (百万円) | |
|-----------------|--------------------|----------------------|
| | 前期 平成15年3月31日現在 | 当中間期 平成15年9月30日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 110,798 | 102,599 |
| 現金及び預金 | 12,153 | 12,745 |
| 受取手形 | 4,172 | 3,972 |
| 売掛金 | 60,217 | 51,054 |
| 有価証券 | 5,028 | 5,805 |
| 製品及び商品 | 15,645 | 13,035 |
| 半製品及び仕掛品 | 3,448 | 4,270 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,195 | 4,909 |
| 前払費用 | 2,324 | 3,137 |
| 短期債権 | 185 | 154 |
| 未収金 | 448 | 419 |
| 繰延税金資産 | 2,998 | 3,109 |
| 貸倒引当金 | 19 | 16 |
| 固定資産 | 70,627 | 73,234 |
| 有形固定資産 | 35,287 | 35,344 |
| 建物 | 16,978 | 18,331 |
| 構築物 | 630 | 665 |
| 機械及び装置 | 5,671 | 8,168 |
| 車両及び運搬具 | 31 | 43 |
| 工具、器具及び備品 | 2,021 | 2,108 |
| 土地 | 5,174 | 5,175 |
| 建設仮勘定 | 4,778 | 851 |
| 無形固定資産 | 1,663 | 5,171 |
| 営業権 | 219 | 195 |
| ソフトウェア | 1,271 | 1,247 |
| 販売権 | -- | 2,402 |
| その他 | 172 | 1,326 |
| 投資その他の資産 | 33,677 | 32,718 |
| 投資有価証券 | 22,104 | 27,675 |
| 子会社株式 | 725 | 702 |
| 長期貸付金 | 1,482 | 958 |
| 長期前払費用 | 4,082 | 214 |
| 繰延税金資産 | 3,808 | 1,252 |
| その他 | 1,815 | 2,270 |
| 貸倒引当金 | 341 | 355 |
| 資産合計 | 181,426 | 175,833 |

有形固定資産の減価償却累計額 46,106百万円 47,042百万円

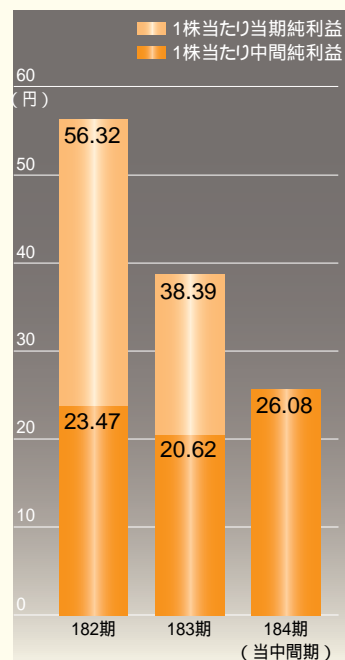
| 科目 | (百万円) | |
|-----------------|--------------------|----------------------|
| | 前期 平成15年3月31日現在 | 当中間期 平成15年9月30日現在 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 57,676 | 38,173 |
| 支払手形 | 3,583 | 3,825 |
| 買掛金 | 26,017 | 20,639 |
| 1年以内に償還予定の転換社債 | 11,118 | -- |
| 未払金 | 5,541 | 3,661 |
| 未払消費税等 | 83 | 261 |
| 未払費用 | 1,763 | 1,401 |
| 未払法人税等 | 3,804 | 2,789 |
| 預り金 | 881 | 898 |
| 賞与引当金 | 3,990 | 3,921 |
| 返品調整引当金 | 54 | 42 |
| 売上割戻引当金 | 838 | 732 |
| 固定負債 | 8,877 | 15,515 |
| 長期借入金 | -- | 7,000 |
| 退職給付引当金 | 8,373 | 8,087 |
| 役員退職慰労引当金 | 504 | 428 |
| 負債合計 | 66,554 | 53,688 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 13,444 | 13,444 |
| 資本剰余金 | 15,860 | 15,860 |
| 資本準備金 | 15,860 | 15,860 |
| 利益剰余金 | 88,136 | 91,587 |
| 利益準備金 | 3,033 | 3,033 |
| 特別償却準備金 | 6 | 5 |
| 固定資産圧縮積立金 | 75 | 236 |
| 別途積立金 | 77,710 | 82,210 |
| 当期(中間)未処分利益 | 7,310 | 6,102 |
| 株式等評価差額金 | 753 | 4,589 |
| 自己株式 | 3,321 | 3,337 |
| 資本合計 | 114,872 | 122,144 |
| 負債及び資本合計 | 181,426 | 175,833 |

損益計算書

(百万円)

| 科目 | 前年中間期 | 当中間期 |
|----------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日 | 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日 |
| 営業損益の部 | | |
| 営業収益 | 74,908 | 74,903 |
| 売上高 | 74,908 | 74,903 |
| 営業費用 | 68,983 | 70,891 |
| 売上原価 | 44,536 | 46,121 |
| 返品調整引当金戻入額 | 9 | 12 |
| 販売費及び一般管理費 | 24,457 | 24,781 |
| 営業利益 | 5,924 | 4,012 |
| 営業外損益の部 | | |
| 営業外収益 | 1,611 | 2,249 |
| 受取利息及び配当金 | 838 | 1,176 |
| 雑収益 | 773 | 1,073 |
| 営業外費用 | 960 | 987 |
| 支払利息 | 96 | 91 |
| 雑損失 | 863 | 896 |
| 経常利益 | 6,576 | 5,274 |
| 特別損益の部 | | |
| 特別利益 | 335 | 2,273 |
| 厚生年金基金代行部分返上益 | - | 2,273 |
| 固定資産売却益 | 335 | - |
| 特別損失 | 423 | 426 |
| 開発品目中止に伴う損失 | - | 426 |
| 投資有価証券評価損 | 302 | - |
| 特別退職金 | 120 | - |
| 税引前中間純利益 | 6,488 | 7,121 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,932 | 2,973 |
| 法人税等調整額 | 902 | 159 |
| 中間純利益 | 3,459 | 4,308 |
| 前期繰越利益 | 1,716 | 1,796 |
| 自己株式処分差損 | - | 2 |
| 中間未処分利益 | 5,176 | 6,102 |

1株当たり当期(中間)純利益の推移



連結貸借対照表

(百万円)

| 科目 | 前 期 | 当中間期 |
|-----------------|----------------|----------------|
| | 平成15年3月31日現在 | 平成15年9月30日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 116,240 | 107,784 |
| 現金及び預金 | 13,906 | 14,102 |
| 受取手形及び売掛金 | 67,040 | 57,786 |
| 有価証券 | 5,089 | 5,866 |
| たな卸資産 | 24,134 | 23,104 |
| 繰延税金資産 | 3,095 | 3,207 |
| その他 | 3,059 | 3,799 |
| 貸倒引当金 | 85 | 82 |
| 固定資産 | 71,175 | 73,736 |
| 有形固定資産 | 35,374 | 35,423 |
| 建物及び構築物 | 17,618 | 19,006 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,703 | 8,212 |
| 土地 | 5,174 | 5,175 |
| 建設仮勘定 | 4,778 | 851 |
| その他 | 2,099 | 2,177 |
| 無形固定資産 | 1,689 | 5,192 |
| 投資その他の資産 | 34,112 | 33,120 |
| 投資有価証券 | 22,891 | 28,485 |
| 繰延税金資産 | 4,023 | 1,411 |
| その他 | 7,594 | 3,632 |
| 貸倒引当金 | 397 | 409 |
| 資産合計 | 187,416 | 181,520 |

(百万円)

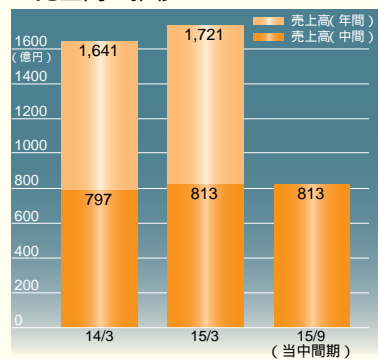
| 科目 | 前 期 | 当中間期 |
|------------------------|----------------|----------------|
| | 平成15年3月31日現在 | 平成15年9月30日現在 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 61,506 | 42,009 |
| 支払手形及び買掛金 | 31,867 | 26,815 |
| 1年以内に償還予定の転換社債 | 11,118 | -- |
| 未払法人税等 | 3,974 | 2,849 |
| 賞与引当金 | 4,196 | 4,120 |
| 返品調整引当金 | 54 | 42 |
| 売上割戻引当金 | 838 | 732 |
| その他 | 9,457 | 7,450 |
| 固定負債 | 9,248 | 15,878 |
| 長期借入金 | -- | 7,000 |
| 退職給付引当金 | 8,705 | 8,414 |
| 役員退職慰労引当金 | 543 | 463 |
| 負債合計 | 70,755 | 57,887 |
| 少数株主持分 | 617 | 646 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 13,444 | 13,444 |
| 資本剰余金 | 15,860 | 15,860 |
| 利益剰余金 | 89,300 | 92,409 |
| その他有価証券評価差額金 | 761 | 4,610 |
| 自己株式 | 3,321 | 3,337 |
| 資本合計 | 116,044 | 122,986 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 187,416 | 181,520 |

連結損益計算書

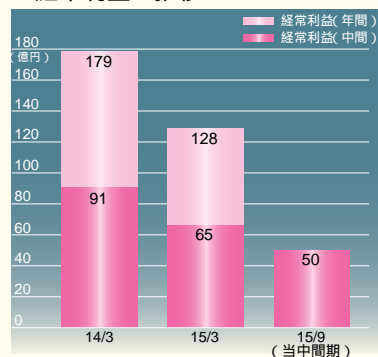
(百万円)

| 科目 | 前年中間期 | 当中間期 |
|---------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日 | 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日 |
| 売上高 | 81,337 | 81,347 |
| 売上原価 | 49,550 | 51,278 |
| 返品調整引当金戻入額 | 9 | 12 |
| 売上総利益 | 31,797 | 30,081 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,694 | 25,799 |
| 営業利益 | 6,102 | 4,282 |
| 営業外収益 | 1,433 | 1,769 |
| 受取利息及び配当金 | 746 | 754 |
| その他 | 686 | 1,015 |
| 営業外費用 | 971 | 987 |
| 支払利息 | 102 | 98 |
| その他 | 868 | 889 |
| 経常利益 | 6,564 | 5,064 |
| 特別利益 | 335 | 2,273 |
| 厚生年金基金代行部分返上益 | -- | 2,273 |
| 固定資産売却益 | 335 | -- |
| 特別損失 | 550 | 426 |
| 開発品目中止に伴う損失 | -- | 426 |
| 投資有価証券評価損 | 308 | -- |
| 特別退職金 | 242 | -- |
| 税金等調整前中間純利益 | 6,349 | 6,911 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,045 | 3,034 |
| 法人税等調整額 | 1,024 | 121 |
| 少数株主利益 | 30 | 29 |
| 中間純利益 | 3,298 | 3,969 |

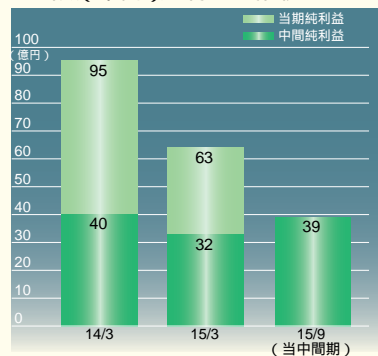
売上高の推移



経常利益の推移



当期(中間)純利益の推移



連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

| 科目 | 前年中間期 | 当中間期 |
|------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日 | 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日 |
| 税金等調整前中間純利益 | 6,349 | 6,911 |
| 減価償却費 | 2,421 | 2,782 |
| 厚生年金基金代行部分返上益 | -- | 2,273 |
| 投資有価証券評価損 | 308 | -- |
| 資産増減等 | 3,584 | 5,331 |
| 法人税等の支払額 | 5,097 | 4,159 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,567 | 8,592 |
| 有価証券の取得・売却 | 1,437 | -- |
| 有形固定資産の取得による支出 | 3,109 | 2,852 |
| 投資有価証券の取得・売却 | 352 | 713 |
| その他 | 2,688 | 38 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4,711 | 3,527 |
| 配当金の支払額 | 973 | 833 |
| 長期借入れによる収入 | -- | 7,000 |
| 転換社債の償還による支出 | -- | 11,118 |
| 自己株式の増加額 | 2,940 | 18 |
| その他 | 300 | 100 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4,213 | 4,869 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,358 | 195 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,933 | 16,898 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 22,574 | 17,094 |

連結子会社

| 会社名 | 資本金 | 当社の議決権比率 | 主な事業内容 |
|----------------|---------|----------|--------------------------|
| 五協産業株式会社 | 100 百万円 | 52.48 % | 食品添加物、化学製品、工業薬品等の販売及び輸出入 |
| ニチエイ産業株式会社 | 10 | 100.00 | 不動産の賃貸、臨床検査及び医薬品等の試験検査 |
| マルピー薬品株式会社 | 30 | 100.00 | 医薬品、衛生用品等の仕入及び販売 |
| 株式会社マルピー物流サービス | 30 | 100.00 | 医薬品等の保管 |

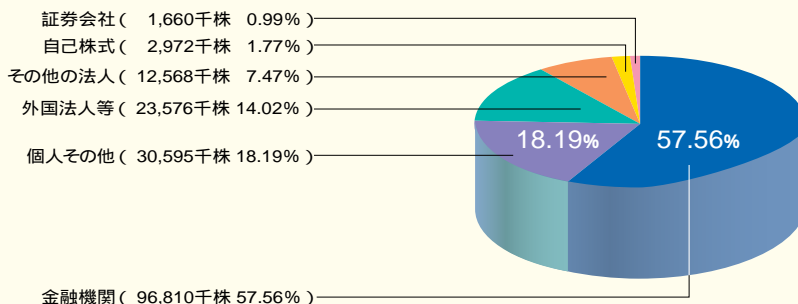
株式の状況

(平成15年9月30日現在)

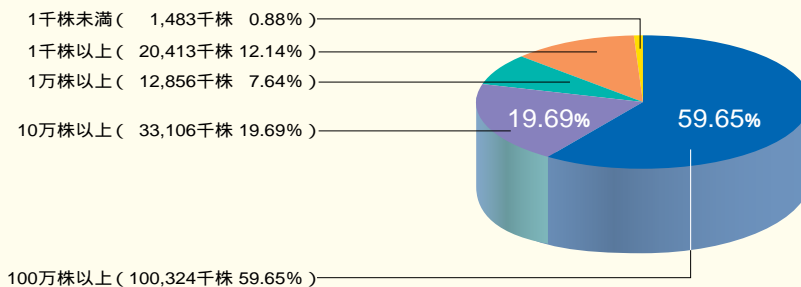
| 大株主 | 株主名 | 持株数 |
|-----|---|----------|
| | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 12,312千株 |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 11,892 |
| | 日本生命保険相互会社 | 11,699 |
| | 住友生命保険相互会社 | 8,237 |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口) | 7,000 |
| | ニッセイ同和損害保険株式会社 | 5,928 |
| | UFJ信託銀行株式会社 (信託勘定A口) | 4,792 |
| | 第一生命保険相互会社 | 4,648 |
| | 株式会社UFJ銀行 | 4,612 |
| | 住友信託銀行株式会社 | 2,423 |
| | 計 | 73,543 |

所有者別状況

発行済株式の総数
168,184千株



所有株数別状況





本社ビル

会社概要 (平成15年9月30日現在)

商号 大日本製薬株式会社
 会社設立 明治30年5月14日
 資本金 13,444,047,360円
 従業員数 2,304名(出向者71名を除く)
 本社 〒541-0045
 大阪市中央区道修町二丁目6番8号
 電話(06)6203-5321

役員一覧 (平成15年9月30日現在)

| | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 渡守武 健 | 監査役(常勤) | 船倉 敏朗 |
| 代表取締役社長 | 宮武健次郎 | 監査役(常勤) | 橋本 史智 |
| 執行役員 | | 監査役 | 石井 通洋 |
| 常務取締役 | 井上 正 | 監査役 | 白井 孝之 |
| 執行役員 | | 執行役員 | 田村 順一 |
| 取締役 | 藤田 尚 | 執行役員 | 水野 順一 |
| 専務執行役員 | | 執行役員 | 廿日岩久典 |
| 取締役 | 兼田 紘信 | 執行役員 | 中村 康彦 |
| 常務執行役員 | | 執行役員 | 三塩 晋作 |
| 取締役 | 澤山 忠弘 | 執行役員 | 木村 義穂 |
| 執行役員 | | 執行役員 | 浜内 覚 |
| 取締役 | 岡本富士雄 | 執行役員 | 清水 浩 |
| 執行役員 | | 執行役員 | 赤井 敏晴 |

(注) 監査役 石井通洋及び白井孝之は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

| | |
|-----------------------|---|
| 決算期日 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会開催時期 | 毎年6月 |
| 同 総会権利行使株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 利益配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 ただし、貸借対照表及び損益計算書を決算公告に代えて当社のホームページ(URL: http://www.dainippon-pharm.co.jp/ir/index.html)に掲載しております。 |
| 名義書換代理人 | 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 |
| 同 事務取扱場所 | 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | |
| (住所変更等用紙のご請求) | ☎ 0120-175-417 |
| (その他のご照会) | ☎ 0120-176-417 |
| (インターネットホームページ URL) | http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html |
| 同 取次所 | 住友信託銀行株式会社 全国各支店 |
| 上場証券取引所 | 東京、大阪、名古屋 |

事業所

| | | | |
|--------|----------|--------------------------|---------------|
| 東京支社 | 103-0023 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 | (03)3270-2011 |
| 札幌支店 | 060-0061 | 札幌市中央区南一条西六丁目4番地1 | (011)281-6101 |
| 仙台支店 | 980-0804 | 仙台市青葉区大町二丁目4番14号 | (022)221-2681 |
| 東京第1支店 | 103-0023 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 | (03)3270-2021 |
| 東京第2支店 | 103-0023 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 | (03)3270-2023 |
| 横浜支店 | 231-0012 | 横浜市中区相生町六丁目113番地 | (045)641-5872 |
| 甲信越支店 | 103-0023 | 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 | (03)3270-2022 |
| 名古屋支店 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内二丁目1番8号 | (052)201-3341 |
| 京都支店 | 604-8161 | 京都市中京区烏丸通二条下ル饅頭屋町595番地の3 | (075)251-1351 |
| 大阪支店 | 541-0045 | 大阪市中央区道修町二丁目6番8号 | (06)6203-6321 |
| 神戸支店 | 658-0015 | 神戸市東灘区本山南町八丁目6番26号 | (078)412-1401 |
| 広島支店 | 730-0016 | 広島市中区鞆町2番16号 | (082)224-0011 |
| 高松支店 | 760-0008 | 高松市中野町33番10号 | (087)862-3888 |
| 福岡支店 | 812-0035 | 福岡市博多区中呉服町6番10号 | (092)281-4531 |
| 鈴鹿工場 | 513-0818 | 鈴鹿市安塚町1450番地 | (0593)82-8951 |
| 総合研究所 | 564-0053 | 吹田市江の木町33番94号 | (06)6337-5876 |



インターネットホームページURL
<http://www.dainippon-pharm.co.jp/>